



財務状況および 2022 年度の保険更改に関する

10 2021

メンバーの皆様へ

2021 年 10 月 26 日にクラブ理事会が開催されましたので、下記の決議事項についてご報告いたします。

ハイライト

- 新型コロナウイルスによるクレームへの影響は、今期保険年度(2021/22)においても引き続き継続していますが、前年度に比べると改善してきています。
- 国際 P&I グループ(IG)に報告されている今期保険年度(2021/22)のプールクレームは、前年度に比べて発生件数は減っているものの、合計の保険金額としてはかなり増加しています。
- 当クラブにおける今期の保険金支払額は、予想よりも上振れて推移しています。
- 今期保険年度(2021/22)のコンバインドレシオは、昨年度に引き続き 100%を超えることが予想されています。この現状を踏まえ、理事会は全てのクラスに 12.5% のジェネラルインクリースを実施することを決定いたしました。
- 今期の投資収益については、昨年度より減少の見込みながら通期では黒字を確保できる見通しです。
- スタンダード&プアーズ(S&P)による当クラブ格付けは引き続き A レベルを確保しましたが、IG のプールクレームへの保険金支払額が突出して高いレベルにある現状を考慮し、Negative outlook(A Negative)となっています。
- 今期の加入保有トン数は順調に増加しており、2021 年 2 月 20 日から 10 月 20 日で総保有トン数の約 6.7% 増加しています。

新型コロナウイルスの影響

- 特に船員に関連するクレームを中心に、引き続き当クラブはメンバーの皆様へ緊密に寄り添ってサポートをしています。ロスプリベンションチームからは新型コロナウイルス関連の 6 本の動画を既に公開し、主に船員向けに情報発信をしてきました。
- 前期保険年度分の新型コロナウイルス関連の保険金支払額の推移は、世界的な流行が続いている現状を考慮して想定よりもわずかに上振れている状況です。しかしながら、新型コロナウイルスに関する今期の保険金支払額自体は、前年度よりも減少する見込みです。

保険成績

2021/22 保険年度

新型コロナウイルス関連のクレームを除き今期前半 6 ヶ月の発生保険金額は、前年度の同時点よりも増加しています。IG へのプールクレームに関しては、前年度より発生件数は減少しているものの、合計の保険金額は大きく増加しています。保険料収入に関しては、新型コロナウイルスによる活動の減少、運航停止などの影響を受け、客船を中心に収入が減少しております。

2020/21 保険年度、およびそれ以前

前年度以前の保険金支払額は、想定よりも少し上ぶれて推移していますが、プールクレームに関しては想定通りの推移となっております。

投資収益

本年度 10 月末まで 8 ヶ月間の当クラブ資産運用益は 1.6%となりました。為替影響を除いた金額は 1,900 万米ドルとなります。

2022/23 保険料率

理事会は、保険成績を損益分岐点まで改善することの必要性を認識した上で、現状クラブの保険金支払いが保険収入に対して超過していること、また IG へのプールクレームへの支払いも増加している現状などを考慮し、全クラスに対して 12.5% のジェネラルインクリースを実施する決断をいたしました。

通例通り、順次各々のメンバーの皆様への保険料率のご案内、および IG 再保険料調整のご案内をさせていただきます。

免責金額

理事会は Class 1(P&I 保険)のメンバーの皆様の免責金額を 10% 増加する要請を出しています。(10 万米ドル以下の免責金額が対象)

資本管理

当クラブは引き続き強力な財務基盤を維持しておりますが、クレームが不安定に推移している状況を考慮して、今回は資本返戻を実施すべきタイミングではないと理事会が判断しました。

スタンダード&プアーズ(S&P)による当クラブ格付けは引き続き A レベルを確保しましたが、IG のプールクレームへの保険金支払額が突出して高いレベルにある現状を考慮し、Negative outlook(A Negative)となっています。財務状況自体は、S&P が求める AAA 格を優に上回る評価が維持される見込みです。

精算保険料 (Release Calls)

未精算保険年度の状況を検討した結果、Class 1(P&I 保険)および Class 2(FD&D)に関する精算保険料について、以下のように調整することを決定しました。

- 2019/20 保険年度: 12.5%
- 2020/21 保険年度: 12.5%
- 2021/22 保険年度: 15%

2022/23 の精算保険料率は、予定保険料の 15%と決定しました。

加入トン数

順調に増加しており、保有トン数(P&I)ベースでは 2021 年 2 月 20 日から 10 月 20 日で総保有トン数の約 6.7% 増加しました。保有トン数と用船者保険トン数を合計すると、178 百万トン以上となっております。

※本記事の英語原文は以下リンクをご参照ください。

<https://www.steamshipmutual.com/Downloads/Circulars-London/L.383.pdf>

スティームシップ・ミューチュアル・アンダーライティング・アソシエーション・リミテッド